

2017Season

1st



2017年度

第1回ゴールドタッチ大会

<大会報告書>



ゴール
ドッジ

2017年6月16日



【開催要項】

日 時	2017年6月4日(日曜日)
会 場	千代田区立麴町中学校 体育館 千代田区平河町 2-5-1 東京メトロ線 永田町駅5番出口より、徒歩3分
主 催 主 管	一般社団法人日本ドッチビー協会 DBJA 千代田区ドッチビー協会 DBAC
協 賛	文化シャッター株式会社 東京キリンビバレッジサービス株式会社 ワタミ株式会社
部門／資格	年齢性別区別なし（小学生高学年以上を推奨）
表 彰	優 勝 / 敢闘賞 / 殊勲賞
参 加 賞	すべての当日参加者(選手)に対して以下を各1贈呈。 ・文化シャッターご提供 = マウスパッド ・東京キリンビバレッジサービスご提供=555mlドリンク ・ワタミご提供=グループ共通お食事券(500円)

【競技方法】

- 試合時間 : 1試合 前・後半各7分、ハーフタイム90秒
- 対戦形式 : 1次予選 ➡ 3チームで構成した3つのリーグ戦。
2次予選 ➡ 予選リーグ成績の 1位リーグ戦。
2位リーグ戦。
3位リーグ戦。
- ルール : 日本ドッチビー協会公式ルールで実施。
一部、下記の通り大会独自ルールを採用しました。
1) 試合の人数は基本4名。小・中学生チームは5名。
2) 全試合、規定時間終了時、同点の場合、引き分け。
- ※大会結果／対戦スケジュール(当日タイムスケジュール)は別紙、参照

【参加チーム一覧】

		大人	小人	計
NDCヤソップ	混成（足立区／クラブ）	9	0	9
NDCウソップ	小学生（足立区／クラブ）	0	7	7
ちゃばんず	社会人（アルティメットクラブ）	6	0	6
M. D. C	混成（武蔵野市／クラブ）	9	0	9
s t y l e	大学生（アルティメットクラブ）	5	0	5
ねぎちる	混成（企業）	9	3	12
Victiniys	小中学生（荒川区／クラブ）	2	6	8
TTV	混成（北区／クラブ）	6	0	6
Fantastic7	混成（北区／クラブ）	6	0	6

●チーム総合計 : 9チーム

●参加選手総数 : 68名

内訳/子ども（小学生以下） 16名
/おとな 52名

●大会関係者総数 : 30名

内訳/チーム監督コーチ 20名
/主要スタッフ 10名

◆大会関与者総合計 98名

◆観戦・引率保護者数 約30名

大会関係者総合計	約128名
----------	-------

【最終成績】

優 勝 : s t y l e (1位リーグ1位)

敢 闘 賞 : T T V (2位リーグ1位)

殊 勲 賞 : ちゃばんず (3位リーグ1位)

【講 評】



6月4日(日曜日)快晴のスポーツ日となったこの日、今年度初のDBJA主催大会となる2017シーズン第1回ゴールドタッチ大会が開催されました。

2016年度に4回のシリーズ開催を実施したゴールドタッチ種目はおかげ様で固定的なファン層が着実に増えており、この流れを止めることなく2017年度も3～4回のシリーズ開催を標榜し、現在、唯一のDBJA傘下市区町村協会である千代田区協会のご協力のもと、昨年同様に交通至便な立地が魅力である区立麴町中学校をお借りすることができました。既に協会ホームページで主催大会年間スケジュールを発表している通り、今後も麴町においてゴールドタッチ大会を複数回、開催する予定になっています。

集合予定時間には全チーム集まり、受付でスポンサー様よりご提供をいただきましたスポーツドリンクを大会参加賞として、参加選手全員に配布。

その後、主催大会では初の試みとなった当日、朝の組合せ抽選会を実施。対戦相手が当日に、はじめて判る、ドキドキワクワク感は悪くない演出だと思います。



対戦形式は参加9チームが3チーム／3リーグに分かれて1次予選リーグをおこない、各予選リーグ順位別に1位／2位／3位の2次リーグを再構成のうえ対戦する形を採用。全チーム1日4試合をおこないました。

The image shows two tournament brackets. The left bracket is for the '予選リーグ' (Preliminary League) and the right bracket is for the '順位決定リーグ' (Final League). Both brackets show a 3-team round-robin format for each of the three leagues, followed by a final round where the top teams from each league compete.



予定時刻に開会式を開始。

池田友規、千代田区会長のご挨拶

のあと、大会諸注意事項の説明の中で対戦ゲーム人数は基本4名にて対戦とするが、小学生チームは全対戦5名かつ3ポイント、中学生チームは全対戦5名かつ2ポイントのハンディキャップについて参加者一同の了承を得られ、これも主催大会では初となるハンディキャップ制を導入する対戦形態となりました。



また参加チーム数が少なかったことで時間の余裕が出たことから、予選と順位決定の各リーグ戦の間にエキシビジョンマッチゲームを以下の形式で実施しました。

○予選各リーグで対戦した3チームが「即席の1チーム」となって対戦。

○3チーム総当り、12分一本通しでおこなう。

○対戦のないチームが審判員をおこなう。

○大会順位には関係しない。

いろいろなチームが自然に交流することができ、和気あいあいとした良い雰囲気の流れがあり、フライングディスクの魅力をあらためて認識することができた時間でした。



大会は予定通り、10時に第1試合をスタートし、17時に全ての試合を終了。2次リーグの結果各1位チームをそれぞれ、【優勝】【敢闘賞】【殊勲賞】として表彰。全チームに参加賞一式を配布して閉会となりました。



今大会の各試合を見て特筆すべき事象として

- ・ファールが激減している。 ➡ 基本ルールの浸透。
- ・パス回しが正確になった。 ➡ 基本技術の向上。
- ・キーパー専門メンバー出現。 ➡ 戦術・戦略を考える。



これらをまとめてみますと、普段よりゴールドッチ種目の練習をおこなうチームが増えた。と考えられると思います。これを踏まえ、協会としては指導者ならびに審判員など、周辺協力関係者への対応が急務である、と痛感しました。



また、ハンディキャップ制の導入により最後まで見応えのある試合となり、見ても楽しめる種目であることを目の当たりにし、誠に手前味噌ではありますがゴールドッチという種目の魅力を再認識した1日でした。





今大会は募集枠12に対して9チームの参加でした。時期的に学校行事(運動会など)と重なったようで、小学生チームの参加が少なかった一方、結果的に参加までには至りませんでした。専門学校や社会人の有志の集まりなど、新規チームから出場を検討している旨の問合せが複数あり、一般層への普及が顕著に見えた嬉しい大会となりました。



今後もこれらの良い傾向を伸ばし、あらためるべき点は改めて、普及活動を推進していきたいと思えます。

ご参加いただいた皆さま、ならびに関係各位に運営面で多大なるご協力を頂きましたことを感謝して、御礼申し上げます。ありがとうございました。